

善行を推し進め、仲間たちを善行に誘おうではないか

あらゆる賞賛は、世界、宇宙の主であられる**アッラー**のもの。**アッラー**は、しもべが主を心から思って行う行為を受け入れられる。**アッラー**は、比べ得る何ものも存在しない唯一者であられる。私は、**アッラー**の外に崇拝する存在はないことを証言し、また、**ムハムマド**は、**アッラー**のしもべであり、使徒であることを証言する。

信者たちよ。**アッラー**は、**クルアーン・蜜蜂章**において述べておられる。

「誠に、**アッラー**は、主を畏れる者、善い行いをする者と共におられる。」(16章 128節)

預言者さま **SAW** は、述べられた。「**アッラー**にとって最も愛すべき人とは、他人にとって最も有益な人のことである。最も愛すべき行いとは、信者たちを幸福にしてあげるとか、借金を払ってあげたり、空腹を満たしてあげたりといった、困難を取り除いてあげるといった行いである。」他人が求めているのは何であるかを見つけることは、その人に対して良い何かをしてあげることであり、助ける手を差し伸べることであり、それは、至高の**アッラー**が好まれる事柄である。そのことについては、**アッラー**の書**クルアーン**で具体的に述べられ、奨励している。

アッラーは、**クルアーン・雌牛章**において述べておられる。

「…それで、互いに、あらゆる善事を競い合いなさい。…」(2章 148節)

預言者さま **SAW** は、人々に役立つことを直ぐになされ、人々の必要に応じてあげたものである。**アッラー**にとって最も好ましい人とは、人の役立つことをすることで**アッラー**から受け入れられ、祝福される者のことである。その者自身は向上し、その者が取り除いた他人の困難などの故に、人々を善行へと誘う。**ジャービル**によると、預言者さま **SAW** は、こういわれた。「誠の**ムスリム**とは、手によってでも、言葉によってでも他の**ムスリム**たちを安心にさせてくれる人のことである。」善行を追い求め、善行を人々に分けてあげたいものである。良い習慣と性格を自分のものとし、人々の役に立ちたいものである。**アッラー**の教えを受け入れ、預言者さま **SAW** の教えに従い、そして、従うべきものには、違反せずに従いたいものである。

アッラーは、**クルアーン・婦人章**において述べておられる。

「お前たち信仰する者よ。**アッラー**に従いなさい。また、使徒とお前たちの中の権能をもつ者に従いなさい。…」(4章 59節)



善行を推し進め、仲間たちを善行に誘おうではないか

信者たちよ。アッラーの祝福の許に人は、一人で生まれてきて、自分を高め人々の役に立ちアッラーの許に帰るものである。アッラーの教えを守り自分を高め善行を積むに当たっては、忍耐と継続が伴うものであり、そこには、きっと、アッラーの御加護があることだろう。

アッラーは、クルアーン・マルヤム章において述べておられる。

「信仰して善行に励む者には、慈悲深い御方は、彼らに愛を与えるであろう。」(19章 96節)
集団では、互いの間の好意をもって結びつき、助け合って善行に努めることが大事である。ヌウマーン・ビン・バシールは、アッラーの御使いSAWが次のように語ったと伝えている。「互いに好意を抱きあい、慈しみ合い、思いやる関係にいる信者は、一つの体のようなものだ。もし、その一部の器官が不調を訴えれば、その他の部分は不眠や高熱を引き起して反応するようなものである。」 善行を推し進め、仲間たちを善行に誘い、困った仲間を助けることに対してアッラーは、御好意を寄せられる。誰ということなく仲間を助け、仲間を良いことに誘うのを急ごうではないか。また、大人たちは、子供たちを助け、子供たちを良い方向に誘おうではないか。

預言者ムハムマド、教友とその一家に祝福と平安がありますように。そして、正当なカリフ、アブー・バクル師、ウマール師、ウスマーン師、アリー師と、正しい道に従う者たちに、祝福と平安がありますように。

アッラーよ。善行を推し進め、仲間たちを善行に誘う者であるように御導き下さい。

アッラーよ。あなたさまを称讃し、あなたさまに感謝する者であるように御導き下さい。

アッラーよ。あなたさまを愛し、預言者さまSAWを愛する者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。預言者ムハムマドSAWに従い、イスラームの教えを守る者にして下さい。

アッラーよ。私たちの信仰心を強くして下さい。私たちの過ちを御赦し下さい。

アッラーよ。仕事に成功を、そして安心と安全を御与え下さい。 **アミーーン**

